

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 誰もがルールを理解し自転車生活を安全に楽しめるまちづくりを

## 質問要旨

小平市では、市民が安心していきいきと暮らせる安全・快適な交通社会を実現させるため、第 11 次東京都交通安全計画を踏まえて令和 3 年度から令和 7 年度までを対象とした「小平市交通安全計画」を 10 月に策定しました。このなかで、全交通事故に占める自転車に関する交通事故の割合が都内平均と比較して高い水準で推移していることや、交通事故当事者の法令違反率の推移ではとくに自転車が大きく増加していることが課題として挙げられており、道路交通環境の整備や交通安全意識の啓発などの取組方針が示されています。

自転車は通勤や通学、子どもの送迎や買い物をはじめとする移動手段として、生活のなかでは切り離せない乗り物です。また、高齢者の自動車事故増加に伴い運転免許証の自主返納が広がり、新たな移動手段として自転車や電動自転車などを利用するケースも増えているようです。子どもから高齢者まで様々な年代の方が安全で快適な自転車生活を送れるようにするために、交通ルールをきちんと理解することや自転車などの利用をしやすいするための市の施策とその評価について、以下質問します。

### 1 歩車分離型信号機について、

(1) 設置による効果について、どのように捉えていますか。

(2) 自転車の横断ルールの周知などの課題について、見解は。

(3) ルール周知徹底のため、信号機周辺に「自転車安全利用五則」の「自転車は車道が原則、歩道は例外」など、端的でわかりやすい標語の掲示をしようかと思いますが、見解は。

(4) さらに信号機の設置について、今後の展望をお示ください。

### 2 シェアサイクルについて

(1) 利用者数の過去 3 年間の推移をお示ください。

(2) 利用促進のためにはシェアサイクルポートの拡充は必須と考えますが、公共施設や公園、駅前などのポート設置について、今後の展望は。

(3) 例えば高齢者が買い物等にも使いやすくとされる三輪自転車などの貸し出しについて検討できないか、見解は。

### 3 自転車が安全に利用できる道路づくり計画について、市の見解は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 3 年 11 月 17 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山浦 まゆみ

受付番号【           】

27	26	25	24

— (        /        )